

使わないなんて
もったいない!

知っておきたいWindows 10の便利機能

Windows 7のサポート終了(2020年1月14日)もいよいよ目前まで迫ってきましたね。みなさんはWindows 10の移行はもうお済みでしょうか? そんなWindows 10では、年に2回大型アップデートが行われ、セキュリティに関するプログラムや便利な機能が提供されています。アップデートのたびに数え切れないほどの機能が追加されてきたWindowsですが、すごく便利なのに知られていない機能がまだまだたくさんあります。今回は知っておくと便利なWindows 10の機能について紹介していきたいと思います。Windows 10に乗り換えたという人も、Windows 10が初めてのPCという人も便利機能を使いこなして、作業効率をあげていきましょう!

仮想デスクトップを使いこなす

仮想デスクトップとは?

デスクトップを複数作成して、それぞれに独立したウィンドウを表示する機能のことです。作業単位でデスクトップを分けることができるので、複数の作業を並行して行うときや、タスクバーがウィンドウであふれて仕方がないという人にはとても便利な機能です。

仮想デスクトップの使い方

■仮想デスクトップを作成する

「タスクビュー」のアイコンをクリックすると「タスクビュー」画面が表示されます。タスクビューでは、現在開いているウィンドウの一覧が確認できます。タスクビューの「新しいデスクトップ」をクリックすると、現在のデスクトップとは別に、新しいデスクトップが追加されます。



タスクビューのアイコンをクリック

■仮想デスクトップを切り替える

「タスクビュー」から切り替えたい「デスクトップ」をクリックすると、切り替えられます。ウィンドウを他のデスクトップに移動したい場合はタスクビューを表示し、移動したいウィンドウを任意のデスクトップにドラッグします。

両端は固定されているので、ループはしません。「調べものは右端!」など位置のマイルールがあると、より使いやすいかもかもしれません。

■仮想デスクトップを削除する

「タスクビュー」をクリックして、削除したいデスクトップのウィンドウにマウスカーソルを合わせると、右上に「x」の削除アイコンが表示されます。削除アイコンをクリックすると削除完了です。削除した仮想デスクトップで起動していたウィンドウは、一つ前に表示された仮想デスクトップに統合されます。

■仮想デスクトップのショートカット一覧

・追加

[Windows] + [Ctrl] + [D]

・削除

[Windows] + [F4]

・デスクトップの切り替え

[Windows] + [Ctrl] + [→] or [←]

・仮想デスクトップの一覧表示

[Windows] + [Tab]

・仮想デスクトップ間でアプリを移動する

[Windows] + [Shift] + [←]

クリップボードを使いこなす

これまでの「クリップボード」は、コピーした最新の1件だけのデータしか貼り付けできませんでしたが、[Windows]+[V]キーを押すことで、クリップボードの履歴一覧を表示させ、過去にコピーしたデータの貼り付けが可能になります。また、クリップボードにコピーして「ピン留め」しておけば、パソコンの再起動後もクリップボードの履歴に残ります。クリップボードの履歴は、1件当たり4MBのサイズ制限と、最大25件の制限があり、新しくコピーをするとピン留めされたモノを除いて、古いモノから自動削除されます。

付箋メモ! (StickyNotes)

StickyNotes(スティッキー・ノーツ)は忘れそうな用事やちょっとしたアイデアなど、簡単なメモを、デスクトップのどこにでも貼り付けることができる「付箋」アプリです。作成した付箋は、削除しないかぎり電源を切っても内容、位置、サイズがそのまま保存されます。画像なども貼り付けることができ、非常に便利です。「StickyNotes」はWindows 7や8.1では「付箋」と呼ばれていたもので、Windows 10では「StickyNotes」になりましたが、今は「付箋」という名前に戻っています。



付箋の色は、黄、緑、ピンク、紫、青、グレー、黒の7色があるので、用途ごとに色を変更できます。

アンインストールも簡単に...!

従来のバージョンでは、Windowsマシンからアプリをアンインストールするには、「コントロールパネル」を開き、インストールされているアプリの一覧をチェックするしかなかったのが非常に面倒でしたが、Windows 10ではスタートボタンをクリックし、削除したいソフトを右クリックして「アンインストール」をクリックするだけで、非常に簡単にアプリのアンインストールができるようになりました。



開発室から



「今年の漢字」が「令」になりました。「新語・流行語大賞」の「ONE TEAM(ワンチーム)」は選考委員による選出ですが、「今年の漢字」は単純な多数決で決まり、全国からの応募で最も多かったのが「令」だったそうです。これまでに複数回選ばれている漢字もあり、「災」は2回、「金」は3回も選ばれています。オリンピックのある来年も金メダルラッシュで「金」なら嬉しいですね。